

## シルバー人材センター事業に関する要望

現在、我が国におきましては、65歳以上の高齢者人口の増加が続き、平成30年度末の高齢化率は28.2%と過去最高を記録いたしました。

今後も、少子高齢化の進行とともに、労働力人口の減少が見込まれるなか、高齢者が地域の担い手として生き生きと活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現がますます重要となり、シルバー人材センター事業への期待と、シルバー人材センターの果たすべき役割も一層大きなものとなっております。

そうした中、全国組織である全国シルバー人材センター事業協会においては、令和元年度定時総会に際し、シルバー人材センターの決意と支援の要望を決議し、国等に要望活動を行ったところであり、別紙のとおり決議された要望書を添付いたしましたので特段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、栃木県シルバー人材センター連合会におきましては、高齢者の雇用形態の多様化など社会情勢の変化に対応するため、国や県などの施策を踏まえ、関係機関との連携を図りながら、栃木県シルバー人材センター連合第2期中長期計画（後期計画）に基づき、会員の拡大をはじめ、就業機会の拡大、安全・適正就業の確保などに重点を置いて事業運営を強化するとともに、各市町のシルバー人材センターへの支援・指導の強化等に努めております。

つきましては、高齢者が健康で生きがいをもって就労することができる機会を確保し、地域社会に貢献するというシルバー人材センター事業の趣旨について改めて御理解をいただき、事業発注の確保などにつきまして引き続き御支援、御協力くださるよう重ねてお願い申し上げます。

令和元年7月25日

公益財団法人

栃木県シルバー人材センター連合会

理事長 富田 哲夫

